

●骨粗鬆症に関わる医科歯科連携用語集●

●整形外科領域

あ行

圧迫性骨折

椎体骨折と同意で使用される

アレンドロン酸®

経口 BP 製剤,フォサマック,ボナロンの後発品

アクトネル®

経口 BP 製剤,リセドロン酸.1 回/月,起床時内服し 30 分横にならないようにする

一次予防

若年期の骨量が増加する時期に,偏りなく栄養素を摂取し適度な運動を行うこと

イベニティ®

抗スクレロスチン抗体製剤,ロモソズマブ.1 回/月,12 ヶ月で終了

L1~5

るんばーる
Lumbar: 腰椎のこと.L1 は第 1 腰椎.

MD 法

Micro Densitometry: 手の横にアルミニウム板を置き,一緒に X 線写真を撮影し,画像の濃淡の差をコンピューターに読み取らせて解析する診断方法
骨粗鬆症リエゾンサービスの略.最初の骨折への対応および骨折リスク評価と新たな骨折の防止,最初の脆弱性骨折の予防を目的とした多職種連携による骨折抑制を推進活動

おーえるえす
OLS

オステオポロシス

骨粗鬆症のこと

か行

活性型ビタミン D3

小腸からのカルシウム吸収を促進させ,骨量の減少を抑える薬

顎骨壊死

進行性に顎骨の破壊をきたす病態.骨髄炎とは別に定義されており,放射線性と骨吸収抑制薬や血管新生阻害剤に代表される薬剤性に分類される.

カルシウム薬

カルシウムが不足すると副甲状腺ホルモンの分泌亢進を介した骨吸収が増加し骨量が減少する.骨粗鬆症に適応を有するのは,L-アスパラギン酸カルシウムとリン酸水素カルシウムのみである

QUS 法

Quantitative ultrasound: 定量的超音波測定方法.超音波の伝搬速度を用いて骨を評価する方法.通常は踵の骨を用いて測定する.放射線を使用しないため,人間ドックや検診には汎用されるが,骨量は評価できない

QCT 法

Quantitative CT: 定量的 CT 測定法.CT を用い腰椎の 3 次元的な骨量を測定する.DXA 法に比べ放射線被ばくがやや多い

原発性骨粗鬆症

閉経後骨粗鬆症,男性骨粗鬆症,特発性骨粗鬆症が含まれる

骨粗鬆症

低骨量と骨組織の微細構造の異常を特徴とし,骨の脆弱性が増大し骨折の危険性が増大する疾患

骨 質

骨微細構造,骨代謝回転,微小骨折,骨組織の石灰化度が含まれる

骨強度

骨密度と骨質の 2 つの要因からなり,骨密度は約 70%,骨質は残りの 30%を説明する

骨密度

単位体積あたりの骨量のこと.単位は g/c m³.カルシウムやマグネシウムなどのミネラルが,骨にどれくらい含まれているかの指標となる

抗 RANKL 抗体

骨芽細胞の RANKL を阻害することで破骨細胞の形成を抑制する薬,デノスマブ製剤のこと

さ行

三次予防

閉経後の女性,高齢男性で骨粗鬆症と診断された場合に,骨粗鬆症の合併症で

さーむ SERM	ある骨折を防ぐため、転倒予防、薬物治療などの介入を行うこと Selective Estrogen Receptor Modulator：選択的エストロゲン受容体調整薬の略。閉経後骨粗鬆症の予防薬
持続性骨粗鬆症	脆弱化の原因や基礎疾患（副甲状腺機能亢進症、甲状腺機能亢進症、関節リウマチ、多発性骨髄腫、クッシング症候群、メトトレキサートの使用など）が明らかな骨粗鬆症
ぜいじゃくせいこっせつ 脆弱性骨折	わずかな外力で生じる骨折のこと。一般的には立った高さからの転倒を基準とし、それより弱い力で生じた骨折のことを指す
ゾメタ®	BP 注射製剤、ゾレドロン酸。悪性腫瘍に適応
ゾレドロン酸®	BP 注射製剤、ゾメタ®の後発品
た行	
大腿骨近位部骨折	足の付け根、大腿骨頭、大腿骨頸部、大腿骨転子部からなる。多くの近位部骨折は、大腿骨頸部または大腿骨転子部（転子下）で発生する。年々増加傾向で、発生数は年間 15 万人とされる
ガイドロネル®	経口 BP 製剤、エチドロン酸 .1 回/日 2 週間投与し 10~12 週休薬
椎体骨折	脊椎を構成する要素のうち椎体のみが骨折する病態、圧迫性骨折とも呼ばれる
テリボン®	PTH:副甲状腺ホルモン製剤、皮下注射 1 回/週。24 ヶ月で終了
てきさ DXA	Dual-energy X-ray Absorptiometry：2 種類のエックス線を用いて骨量を測定する方法で、現在最も正確に骨量を測定することが出来る方法。腰椎と大腿骨近位部の両者を測定することが望ましい
デノスマブ	抗 RANKL 製剤、ランマーク®, プラリア®
な行	
二次予防	中年期には骨量の増加は期待出来ないので、骨粗鬆症およびその予備軍を発見するための検診を行い、栄養指導、運動指導、治療を検討する
パミドロン酸®	BP 注射製剤、悪性腫瘍、骨形成不全症に適応
は行	
BMD	Bone Mass Density：骨密度の略
BMA	Bone Modifying Agent：骨修飾薬の略。BP 製剤、抗 RANKL 製剤、抗血管新生阻害薬などの総称
ビスホスフォネート	破骨細胞に作用し、骨を壊す過程を抑えて骨量の低下を抑え、骨を強くし骨粗鬆症による骨折などの危険性を低下させる薬。BP 製剤、Bis 剤は略語
BP/Bis	
PTH 製剤	副甲状腺ホルモン製剤、骨芽細胞の機能を活性化し骨形成を誘導する。テリボン®, フォルテオ®
ふらっくす FRAX	Fracture Risk Assessment tool：骨折リスク評価ツール
フォサマック®	経口 BP 製剤、アレンドロン酸。1 回/週、起床時内服し 30 分横にならないようにする
フォルテオ®	PTH:副甲状腺ホルモン製剤、皮下注射 1 回/日。24 ヶ月で終了
プラリア®	抗 RANKL 製剤、デノスマブ製剤。1 回/月、皮下注射
ベネット®	経口 BP 製剤、リセドロン酸。1 回/週、起床時内服し 30 分横にならないようにする

ボナロン®	経口 BP 製剤,アレンドロン酸.1 回/日,1 回/週,ゼリー製剤,注射製剤がある
ボノテオ®	経口 BP 製剤,ミノドロン酸.1 回/月,起床時内服し 30 分横にならないようにする
ボンビバ錠®	経口 BP 製剤,イバンドロン酸.1 回/月,起床時内服し 60 分横にならないようにする
ボンビバ静注®	BP 注射製剤,イバンドロン酸.1 回/月
ミノドロン酸®	経口 BP 製剤,ミノドロン酸の後発品
フォサマック®	経口 BP 製剤,アレンドロン酸.1 回/週、起床時内服し 30 分横にならないようにする
や行 やむ YAM値	Young Adult Mean：若年成人平均値.診断基準は脆弱性骨折のある例では 80%未満,脆弱性骨折のない例では 70%未満を骨粗鬆症となっている
ら	
ランマーク®	抗 RANKL 製剤,デノスマブ製剤.悪性腫瘍に適応
リセドロン酸 Na®	経口 BP 製剤,リセドロン酸の後発品
リカルボン®	経口 BP 製剤,ミノドロン酸.1 回/月,起床時内服し 30 分横にならないようにする
リクラスト®	BP 注射製剤,ゾレドロン酸.1 回/年製剤
ロコモティブシンドローム	運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態
ロモソズマブ	抗スクレロスチン抗体製剤,スクレロスチンに結合し骨形成促進と骨吸収抑制作用を持つ.イベニティ®

● 歯科領域

あ行 あるんじえい ARONJ	Anti-resorptive agents-Related Osteonecrosis of the Jaw の略称.骨吸収抑制薬関連顎骨壊死のこと
インレー：In うしよく 齲 蝕	虫歯の治療における詰め物.In と表記する.顎骨には影響がない. 虫歯のこと.原因菌の感染により歯質が破壊される.カリエスと呼ぶことある
か行 がっこつ 顎 骨	顎の骨,歯槽骨と区別する場合もある。上顎骨と下顎骨では皮質骨と骨髄の割合が大きく異なる.骨膜内骨化
カリエス	デンタルカリエス.虫歯の総称
顎骨壊死	放射線性と薬剤関連顎骨壊死がある
ぎし 義 歯	入れ歯のこと.部分入れ歯と総入れ歯に分けられる
義歯性潰瘍	入れ歯の物理刺激による粘膜潰瘍.Dul と表記する
クラウン	被せ物の治療.歯の広い面積を被せる治療.詰め物と区別する表現
こんかんちりょう 根管治療	根尖性歯周炎などの歯髄におよぶ細菌感染に対して物理的な除去を行う治療方法.一般的に数週間の治療を要する.
こんせんせいししゅうえん 根尖性歯周炎：Per	虫歯が根にまで波及し,顎骨内に感染巣を生じる病態.Per と表記.根管治療または抜歯の治療が適応となる

さ行

残根

歯冠

歯周病：P

歯の根だけが残った状態.入れ歯の安定や感覚保存のために残す場合もある
歯の上部のこと.被せ物の上部構造を指す場合もある

歯周治療

歯肉炎（歯肉に局限した炎症）と歯周炎（歯肉、歯根膜、歯槽骨におよぶ）
を含めた総称.P と表記する

歯石はプラークが石灰化したもので,物理的な除去（除石・スケーリング）
から始まり歯周治療は歯周外科,歯槽骨再生など多岐に渡る.清掃状態が良ければ
単回で治療できるが,数週治療を要する場合もある

歯槽骨

顎骨のうち,歯が植立している部位に局限した部位の名称.皮質骨からなる.

歯肉炎

歯肉に局限した炎症の総称.歯周病に含まれる.局限していれば可逆性の病態
であることがほとんど

歯周炎

歯周組織（歯肉、歯根膜、歯槽骨）におよぶ炎症の総称.組織破壊の多くは
不可逆性

た行

デンタル撮影

数歯の詳細な状態確認のための X 線撮影方法.小さなフィルムで撮影するの
で顎骨の評価は困難

デンチャー

入れ歯のこと.部分入れ歯と総入れ歯に分けられる

DRONJ

Denosumab-Related Osteonecrosis of the jaw の総称.デノスマブ使用顎
骨壊死症例に対する名称

は行

パーシャルデンチャー：PD

取り外し可能な部分的な入れ歯の総称.PD と表記

パントモ

オルソパントモグラフィの略.パノラマ X 線写真.歯列の全体を撮影する撮
影方法.ルミエール症候群のスクリーニングなどにも注目されている.

フルデンチャー：FD

総入れ歯のこと.FD と表記

ブリッジ：Br

残った歯と歯に橋渡し状に被せ物をする治療.欠損した歯の部分にはダミー
の歯を置く.Br と表記

部分入れ歯：PD

取り外し可能な部分的な入れ歯の総称.PD と表記する

BRONJ

Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of the Jaw の略称.ビスホスフ
ォネート使用顎骨壊死症例に対する名称

補綴

被せ物の治療.クラウン,ブリッジによる治療に相当する

ま行

MRONJ

Medication-Related Osteonecrosis of the Jaws の総称.骨吸収抑制薬だ
けでなく,ステロイドなど骨代謝に影響を及ぼす薬剤を包含した顎骨壊死の
名称